

文教・スポーツ常任委員会において取り組むべき事項

令和4年4月25日

香 川 県

1 国への政策要望について

(1) 教育施策の推進上の課題について

Society5.0時代の到来や、新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会の変化が加速度を増し、予測困難な時代となる中、一人ひとりの児童生徒が、豊かな人生を拓き、持続可能な社会の担い手となることができるよう、様々な教育施策を推進していく必要がある。

○国に対する主な要望事項

- ・少人数によるきめ細かな指導体制や小学校高学年からの教科担任制など、新しい時代の学びを支える指導体制のための教員定数の一層の確保
- ・GIGAスクール構想で整備された端末等の維持更新や、高等学校等でも全ての生徒が端末を活用して学ぶための環境整備等への財政支援
- ・新型コロナウイルス感染症の影響により不安やストレスを抱える児童生徒に対して、組織的な支援体制を構築するために必要な財源確保

(2) 科学技術・文化芸術に関する課題について

新技術や新産業の創出による活力ある地域づくりや、日本の科学技術の高度化・多様化のため、地域における科学技術を振興する必要がある。また、新たな文化の創造や歴史文化の保存継承、文化芸術資源を活用した地域経済の活性化のため、地域における文化芸術の振興を図る必要がある。

○国に対する主な要望事項

- ・地域の特性を生かした先端産業を中心とした新たな産業集積圏域の創設
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により大きな影響を受けた文化芸術関係者・団体及び文化施設への支援や文化芸術人材の育成等
- ・地域における文化芸術や歴史文化資源の情報発信拠点であり、文化観光の拠点ともなる文化施設の耐震化・長寿命化や機能向上等への財政支援の拡充

(3) スポーツに関する課題について

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催効果を一過性に終わらせず、「する」「みる」「支える」といった様々な形での積極的なスポーツへの参画や、スポーツを通じた共生社会等の実現、スポーツを生かしたまちづくりをより一層推進する必要がある。

○国に対する主な要望事項

- ・国際大会で活躍できる選手の発掘や育成、国際的なスポーツ合宿の受入れ、競技会場等の整備や既存施設の国際水準の確保等、ソフト・ハード両面における財政支援
- ・生涯スポーツを通じた健康増進の取組などに対する支援のさらなる充実・強化

- ・障害者スポーツの裾野拡大を図るための競技団体への助成やスポーツ施設のバリアフリー化などに必要な財政支援

2 「イノベーション・コモンズ（共創拠点）」の推進に関する政策提案について

大学等は、地域における「知の拠点」として、地域の将来を支える人材育成や産業振興に多大な貢献をしており、地方創生にとって重要な役割を担っている。

一方で、地域の課題は、非常に複雑で困難なものが多く、絶えず変化しており、大学等、地方自治体、産業界等のそれぞれの立場からのみで、地域課題を解決したり、新たな価値を創出することは限界となっている。

このため、地域の多様な主体が、課題認識を共有し、大学等の知見も活用しつつ、地域社会の維持・発展に向けて議論と実践を行う、大学等を中心とする「イノベーション・コモンズ（共創拠点）」の構築が必要であり、国への政策提案を行うものである。

○国に対する主な政策提案事項

- ・地域連携プラットフォームなど、共創の枠組みの形成やその円滑な運営に対して、人的・財政的な支援を充実
- ・多様な主体との連携を円滑に進める大学等職員の育成・確保など、共創のための大学等の体制を強化
- ・共創の枠組みを通じた取組みが恒常的に行われるよう、取組みの実践に対する支援や、大学等の施設の機能強化、整備を充実